

磐城時報

第九十期
日刊
昭和十年六月二十日
發行所 磐城時報社
印刷所 磐城印刷局
電話 二二二
代金 一月五元 三月十五元 半年三十元 一年六十元
廣告料 行字 一文字 一ヶ月 五文字 一ヶ月 十文字 一ヶ月 二十文字 一ヶ月 五十文字 一ヶ月 一百文字 一ヶ月 二百文字 一ヶ月 三百文字 一ヶ月 四百文字 一ヶ月 五百文字 一ヶ月 六百文字 一ヶ月 七百文字 一ヶ月 八百文字 一ヶ月 九百文字 一ヶ月 一千文字 一ヶ月

法學士の肩書で 名士から詐取

武道家名鑑出版を口實に 七百餘圓を騙った男

昨年末ころから平町を始めとして五〇〇と共謀して右の手段で縣下各地を廻り歩いて『福島縣下から約七百圓を詐取した』もの武道家名鑑』を出版するとして二圓で平町釜屋商店の五圓を始め乃至十圓位宛を集めて歩いて、中校長小椋山久作氏その他被害士があつたが今日に至るも未だ巨額に達してゐる模様。

郡下國語科 石城郡教育
研究講習會 部會では來
は右犯人を捜査の結果福島市宮
町自稱日大商學士齋藤小太郎(小
三)と判明十八日同署に引致
取調中であるが、同人は福島
市第四小學校前古物商松本(峯
地光重氏)。

急激な出荷増から 繭價漸やく低落

四倉繭市十八日取引

四倉繭市場十八日の取引は連日押して今後次第に低落の一途を
の高値に俄然出廻り激増し出荷進んで見られるので
合計二千六百三十貫に達し、前途頼りなしとする養蠶家は
數年間の新記録を作つたが、急いで繭の現金回収を計るべく
荷増から急激な低落を見て春、今十九日は一層の出廻り増加を
繭景氣の前途に一抔の不安を漂
はせてゐる。即ち

白繭出廻り二千四百二十七貫
高値四圓一錢、安値三圓、買
馴三圓五十五錢、黃繭出廻り
二百三貫、高値三圓五十一錢
安値三圓、買馴三圓四十錢
春繭好況に恵まれて昨十八日開
であつた、開市以來の取引から場した植田町繭市場の初取引は

豫想以上の好成绩で出廻り二百
八十六貫、高値四圓十錢、安値
三圓五十五錢、買馴三圓八十二錢
掛目二十九掛(以上全部白繭)
で例年四倉繭市場より若干成績
不良の傾向ある同市場も今年
同等の成績をあげて、にも春
繭景氣を高らかに謳歌してゐる

植田市場と同じく十八日開場し
た勿來繭市場の初取引は出廻り
高値四圓十錢、安値三圓
養蚕家喜ぶ

好景氣到來か? 各種税額が増加

平稅務署當局喜ぶ

平稅務署管内本年度第三種所得
稅營業收益稅、資本利子稅の集
計はこの程完了した。
所得稅は人員千三百四十七人
所得金額二百八十八萬五千七百
十八圓、稅額六萬四千三百七十
二圓で昨年にくらべ人員七分
一厘、所得金額四分七厘、稅
額五分二厘のいづれも増加、
營業收益稅は人員千二百九人
四分八厘増、純益金額百十一
萬一千九十八圓二分五厘増
稅額二萬五千二百三十三圓(二
分一厘増)で資本利子稅は人
員四四八人、利子金額九萬三
千五百二圓、稅額一千八百七
十圓となり人員は増加したが
利子金額は減少してゐる。

植田方部初取引
高値四圓十錢を現出
但出荷は未だ僅少

水産界に新生面 魚類の加工製造

水試場で指導

小名濱町縣立水産試驗場では此
程左の如き魚類加工製造日程を
決定水産講習生徒の實習を兼ね
て魚類加工の試験として郡下漁
業界に貢獻せんとするもので成
果を期待されてゐる。

▲六月七日鳴戸和布、同鯖場乾
▲七月八月鯖味付罐詰▲七、
八、九月鱈節(龜節、本節、
ボヤ節、鯉節)▲九月鱈の
大和煮、同鱈の味付罐詰▲十
十一月さくらんぼ照燒、罐詰▲十
一、十二、一、二の四ヶ月鱈
加工品(裹乾、酢漬、粕
の他)▲十二月竹輪蒲鉾。

農繁期の留守を狙ひ 裕々と現金を盗む

大膽不敵な小僧捕る

平町新川町生れキチ長男加藤正圓を窃取した足で更に付近數軒
清(一八)は廣野村大字折木字北に忍び込み農繁期の留守を幸ひ
澤下駄商松本梅吉方に雇はれ中裕々として現金専門の窃盜を働
去る十五日無断逃走十六日午後八時ころ久之濱字末續農繁期
八時ころ久之濱字末續農繁期久之濱字末續農繁期久之濱字末續
一郎方留守宅に忍び入り現金五選捕されたが余罪ある見込み。

炭山に咲いた戀 親に許されず心中行

危ぶない處を救はる

湯本町宇寶海入山炭礦選炭婦齋
藤かつ(三三)は十八日自殺する
旨の遺書を殘し戀仲の湯本町入
山炭礦長屋東七號ノ五運炭機關
士菊地義勝(三三)と手に手を取
つて墮落行方を晦ました、驚い
たかつの實父から直ちに捜索方
を顯出たので平署で手配の結果
十九日朝勿來海岸で死に場所を
探してゐる兩名を植田署員が取
捕へ保護を加へた上實家に引渡
された。
兩名は一昨年夏頃から同じ區
域で勞働してゐるうち戀が芽
生え二世を約して夫婦關係を
結んだが女の親が結婚に反對
するので心中を企て家出した
ものらしい。

平職紹の就勞登録 愈よ來月開始

夏井川改修着工迫り 細民階級に乾天の惠雨

夏井川改修工事を始めとして國では既報の如く失業者並に自由
道鋪製その他平町方部の各種雇勞働者のために就勞希望者登録
救工事は來月中旬を期して一齊を開始することになつた。申込
に開始されるので平職業紹介所受付は七月一日からで

謹告 佐藤代議士送別會

會場 平・館

期日 六月二十日午後一時開會
會費 金壹圓也
發起人 井上茂作 青沼滿藏
萩原義雄 安島重三郎
小野晋平 木村清治
金子成吉 古川傳一
田子健吉 鈴木辰三郎

磐女増築工事 落札者決る

代議士佐藤比太郎氏渡歐送會
は二十日午後一時から平町住吉
屋旅館で催す筈であつたが出席
者三百餘名に達し住吉屋大廣間
では狭隘となつたので會場を平
館に變更同日定刻から盛大に開
宴することになつた。

縣下高女校 教務主任會

廿一日磐女で 歡送宴會場變更

佐藤代議士
廿日平館で

落札者決る 磐女増築工事

代議士佐藤比太郎氏渡歐送會
は二十日午後一時から平町住吉
屋旅館で催す筈であつたが出席
者三百餘名に達し住吉屋大廣間
では狭隘となつたので會場を平
館に變更同日定刻から盛大に開
宴することになつた。

縣下高等女學校教務主任會は來
る二十一、二兩日平町磐城高等
女學校で開く。

魚清の謝恩デー

開店し週年記念として来る廿三日(廿三夜)の晩御来店の御客様にゴム風船一人一個づゝ差上りますから何卒御立寄り下さい。

平二(警察署通り)

魚清食堂部

電話六三三番

魚清氷卸部

電話四六七番

朝風呂

全く温泉気分

始めました

旅館 甲陽館

平驛前 電話一四八番

お湯屋を安く

御譲り致します

此程都合に依りお湯屋を安く御譲りしても御貸しても宜しいのです

電気モーターポンプの設備があります

湯釜は最近新調取替、大水タンク新設

水質は良好、御希望の御方は

電話四倉百廿一番で御聞取り下さい

四倉仲須賀町

海水浴場に近く、カイクイキ湯

◇入院 應需
◇自炊の便あり

明雲堂眼科醫院

平驛前 電話六六九番

別製白玉水

あづき水
クリムソーダ
アイスクリーム
ミルクセーキ
モナカ
アイス
豆

藤市氷部

耳鼻咽喉科専門

平田町(電六九一)

山内醫院

醫學士 山内亨吉

病室完備
自炊ノ便アリ

毎度御引立を戴いてゐる

藤寅 では例年通り

冷たい美味しい飲物

アイスクリーム・アツキアイス

ミルクセーキ・クリムソーダ

豆・其他氷水各種

相初めました是非……夏の夕御散歩

歸りに御立寄り下さい

平一丁目

不夜天

電話一四一番

外科 一般外科 内臓外科
性病科 X光線科

入院隨意(自炊の便あり)

元赤心堂病院

安齋外科醫院

電話四七五

RESTAURANT. TEA AND WINE

洋食 喫茶

コンパル

平町電六六六番

コンボック

塩豚

平町田町

電話三三三番

正 正社堂洋服店

平町四丁目(電四三六)

洋服	七圓
洋裁	七圓
洋傘	四圓
洋靴	四圓
洋帽	四圓
洋巾着	四圓
洋手袋	四圓
洋靴擦	四圓
洋靴磨	四圓
洋靴油	四圓
洋靴膏	四圓
洋靴粉	四圓
洋靴布	四圓
洋靴紙	四圓
洋靴綿	四圓
洋靴毛	四圓
洋靴革	四圓
洋靴漆	四圓
洋靴油	四圓
洋靴膏	四圓
洋靴粉	四圓
洋靴布	四圓
洋靴紙	四圓
洋靴綿	四圓
洋靴毛	四圓
洋靴革	四圓
洋靴漆	四圓

藤沼醫院

内科 小兒科
花柳病科

平町紺屋町
電話五〇七番

家庭劑庭 和尊泉

六月二十日廿一日 入場無料 下足料として 金十銭申受升

軒中天 如雲月師

當地各商店御得意慰安浪花節大會

諸橋國松
外親戚一同

四男四郎様病氣の處藥石無効十八日午前七時死去致候間謹告仕候
道て葬儀は来る二十一日午後二時自宅出棺照應寺に於て佛式に成り相替り可申候
昭和十年六月十九日
平町新川町

和尊泉製造發賣元 小野屋藥局
平町四丁目(電話一四四番)

特微
一、治療に効力偉大保養的に心身爽快となる
二、小兒の發育を健全ならしむる資料となる
三、血液の循環を良くし新陳代謝を旺盛にする
四、連浴すれば體質改造健康増進す
五、強力なる殺菌防腐消毒の作用を有す

主治効能
神經痛、リウマチス、關節炎、肩凝り、胃腸病、神經衰弱、激務ノ疲勞、手足筋ノ疼痛、腰痛、打撲傷、婦人病、血道ノコシケ、冷へ性、腹小使、胎毒、皮膚病、創傷、痔疾、淋病、疝氣、寸白、凍傷、田鼠、水虫、いんきん、しつ、ひせん、あせも、わきが、吹出物、生來虛弱、動脈硬化症、感冒、病後ノ衰弱等に偉効あり
又傳染性諸病の豫防に用ゆ、赤ん坊のうぶ湯に用てよし
定 價 金貳拾錢より貳圓迄

如雲月師

入場無料 下足料として 金十銭申受升

六月二十日廿一日 於 聚樂館

軒中天

當地各商店御得意慰安浪花節大會

諸橋國松
外親戚一同

四男四郎様病氣の處藥石無効十八日午前七時死去致候間謹告仕候
道て葬儀は来る二十一日午後二時自宅出棺照應寺に於て佛式に成り相替り可申候
昭和十年六月十九日
平町新川町